

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-26

国文学会報

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

日本文学誌要

(巻 / Volume)

5

(開始ページ / Start Page)

72

(終了ページ / End Page)

72

(発行年 / Year)

1960-06-10

国文学会報

△小田切教授フランスへ▽ 小田切秀雄教授は、法政大学海外留学の第五陣として、法学部の中村哲教授とともに、四月十八日、日本郵船の熱海丸で出帆された。目的地はパリだが、英独伊さらに東欧諸国にも足をのびして、文学運動の状況と文学理論の段階をつぶさに見てきたいとのよし。さらにパリでは下町に下宿してシャンソンなどおぼえてきたいとかなかなかの抱負である。留学期間は約一年。だから来年度の国文学会総会あたりで、本場仕込みのシャンソンが聞けるかもしれない。

△重友教授の還暦▽ 昨年十二月重友毅教授の還暦祝賀会が東京学士会館で盛大に開かれた。五月の西尾実教授古希祝賀につづくわけで、昨年は日本文学科にとって大変おめでたい年だったことになる。もちろん二先生ともますます元気で後進の指導に当たっておられる。

△本年度の国文学会総会▽ は大体八月中旬に開催される。暑いさかりだがこれも卒業会員の都合を考へてのことである。どうか昨年以上に多数で参加をお願いしたい。

なお、本号に続稿を予定されていた「近代

日本文学史叙述の研究」、「解放目次」いずれもスペースの関係で次号に送らざるをえなかった。また木藤才藏氏による「浅茅」注解も同様の理由で分載となったことをおわびしておきたい。次号の発行予定は十一月だが、たく山のご投稿を期待している。△切は九月末。枚数は五十枚位まで。宛先は東京都千代田区富士見町法政大学国文学会。なお採否は、編集委員会に任せたい。

本年度の卒論発表会は、五月二十八日午後一時より四時まで左の優秀論文がえらばれて行われた。

現代小説における形式の変革 新井 俊一
 平家物語の説話性 原田 義光
 近松の芸術序説 樋口 孝治
 ひさごー「木のもと」の巻 山本吉左右
 近代日本における歴史 鈴木 穆
 変革と自己変面

一九六〇年六月一〇日発行

定価 八〇円

日本文学誌要 第五号

編集委員

法政大学国文学会

近藤 忠義 小田切秀雄
 小原 元 正木 信一
 阪下 圭八 杉本圭三郎
 橋本 稔 内田 保男
 佐藤 輝夫 山崎 仁平

印刷者

東京都中央区銀座東三ノ七
 東銀座印刷出版株式会社
 電話東銀座 〇三九四七

発行所

東京都千代田区富士見町
 法政大学大学院内

法政大学国文学会

電話東京 〇二二三五一番
 振替東京 六九四三番